

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年10月16日(火)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年10月16日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	活性炭式希ガスホールドアップ建屋から原子炉建屋付属棟連絡通路扉(防火扉CH-1-2)において、レバーハンドルの外れが認められたため、当該ハンドルを交換。 なお、施錠により閉鎖は可能。	GⅢ	
2	1号機	補機冷却海水系タービン補機冷却系熱交換器(B)貝殻除去装置排出弁において、シート部に漏えい(海水)が認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	
3	3号機	非常用ガス処理系(B)において、「SGTSチャコールフィルタB入口湿度高」警報の発生が認められたため、原因調査・対策検討。	GⅢ	
4	1・2号廃棄物処理設備	ランドリー設備衣類乾燥機(3A)加熱蒸気用ドレントラップ(湿分分離器)において、凝縮水の漏えい(約2秒に1滴、汚染なし、管理区域の堰内、受け容器設置)が認められたため、当該箇所を点検・修理。	GⅢ	